



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 芙蓉総合リース株式会社

コード番号 8424 URL <https://www.fgl.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 織田 寛明

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 岸田 勇輔 TEL 03-5275-8800

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	533,765	15.3	41,376	19.9	46,993	20.7	30,730	19.6
2022年3月期第3四半期	463,070	△16.4	34,518	9.9	38,943	15.1	25,691	24.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 48,454百万円 (64.8%) 2022年3月期第3四半期 29,396百万円 (9.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	1,025.45	1,019.97
2022年3月期第3四半期	856.63	851.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	3,019,525	406,434	12.1	12,184.22
2022年3月期	2,949,704	374,239	11.3	11,121.96

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 365,223百万円 2022年3月期 332,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	130.00	-	155.00	285.00
2023年3月期	-	158.00	-		
2023年3月期（予想）				158.00	316.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	700,000	6.4	51,500	11.9	56,000	6.2	36,000	6.2	1,202.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」及び「同(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	30,287,810株	2022年3月期	30,287,810株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	312,657株	2022年3月期	361,957株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	29,968,055株	2022年3月期3Q	29,991,372株

(注) 当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、期末自己株式数については、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式(2023年3月期3Q 149,800株、2022年3月期 177,100株)を含めております。また、期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式については、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式(2023年3月期3Q 151,882株、2022年3月期3Q 102,840株)を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7
(会計上の見積りの変更)	P. 7
(セグメント情報)	P. 8
3. 補足情報	P. 10
(1) 契約実行高	P. 10
(2) 営業資産残高	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の契約実行高は前年同期比7.4%増加の1兆856億2千9百万円となりました。

損益面では、売上高は前年同期比15.3%増加の5,337億6千5百万円、営業利益は前年同期比19.9%増加の413億7千6百万円、経常利益は前年同期比20.7%増加の469億9千3百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比19.6%増加の307億3千万円となりました。

売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、ともに前年同期を上回る実績となり、各段階利益については第3四半期の過去最高実績を更新しております。なお、中期経営計画の経営目標に設定している経常利益は、第3四半期としては6期連続で最高実績を更新しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。各セグメントにおける売上高については「外部顧客への売上高」の金額、セグメント利益については報告セグメントの金額を記載しております。

[リース及び割賦]

リース及び割賦の契約実行高は3,364億5千8百万円と前年同期比10.0%減少し、営業資産残高は前連結会計年度末比2.6%減少して1兆7,125億1千3百万円となりました。リース及び割賦の売上高は前年同期比14.3%増加して4,769億9千7百万円となり、セグメント利益は前年同期比18.6%増加して289億5千2百万円となりました。

[ファイナンス]

ファイナンスの契約実行高は7,489億9千8百万円と前年同期比17.5%増加し、営業資産残高は前連結会計年度末比14.5%増加して8,889億9千5百万円となりました。ファイナンスの売上高は前年同期比17.7%増加して192億7千6百万円となり、セグメント利益は前年同期比14.8%増加して145億3千3百万円となりました。

[その他]

その他の契約実行高は1億7千2百万円と前年同期比31.2%増加し、営業資産残高は前連結会計年度末比5.5%減少して300億3千9百万円となりました。その他の売上高は前年同期比27.6%増加して374億9千1百万円となり、セグメント利益は前年同期比32.3%増加して80億9千8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の営業資産残高（割賦未実現利益控除後）は、前連結会計年度末比2.6%増加の2兆6,315億4千8百万円となり、総資産は前連結会計年度末比2.4%増加の3兆195億2千5百万円となりました。当第3四半期連結会計期間末において、間接調達は、長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末比1.8%増加して1兆7,066億2千6百万円となり、直接調達は、債権流動化に伴う長期支払債務は減少したものの、社債を発行したことなどにより、前連結会計年度末比2.7%増加して7,075億4千万円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の調達残高は、前連結会計年度末比2.0%増加して2兆4,141億6千7百万円となりました。直接調達比率は29.3%となり、前連結会計年度末に比べ、0.2ポイント上昇いたしました。

株主資本合計は、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末比5.5%増加の3,088億9千8百万円となり、当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比321億9千4百万円（8.6%）増加して4,064億3千4百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末比0.8ポイント上昇し12.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月10日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました2023年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,157	77,240
割賦債権	66,877	55,825
リース債権及びリース投資資産	1,019,764	902,589
営業貸付金	316,633	331,800
その他の営業貸付債権	114,443	116,527
営業投資有価証券	323,021	411,698
その他の営業資産	23,344	30,786
賃貸料等未収入金	24,807	23,267
その他	66,556	66,065
貸倒引当金	△2,717	△2,669
流動資産合計	2,024,888	2,013,131
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	671,643	754,707
貸貸資産前渡金	15,111	1,508
貸貸資産合計	686,754	756,216
その他の営業資産	31,801	30,039
建設仮勘定	4,673	9,501
社用資産	3,754	3,581
有形固定資産合計	726,984	799,338
無形固定資産		
貸貸資産	195	156
その他の無形固定資産		
のれん	21,234	21,934
その他	9,367	9,506
その他の無形固定資産合計	30,602	31,440
無形固定資産合計	30,797	31,597
投資その他の資産		
投資有価証券	120,259	129,494
破産更生債権等	539	475
退職給付に係る資産	88	427
繰延税金資産	2,976	2,684
その他	42,554	41,826
貸倒引当金	△331	△204
投資その他の資産合計	166,087	174,704
固定資産合計	923,869	1,005,640
繰延資産		
創立費	1	4
開業費	944	749
繰延資産合計	945	754
資産合計	2,949,704	3,019,525

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,441	32,735
短期借入金	568,563	572,502
1年内償還予定の社債	30,000	45,000
1年内返済予定の長期借入金	328,958	367,359
コマーシャル・ペーパー	371,000	372,500
債権流動化に伴う支払債務	29,400	29,200
1年内支払予定の債権流動化に伴う長期支払債務	16,508	7,407
リース債務	10,827	8,179
未払法人税等	8,145	3,600
割賦未実現利益	810	765
賞与引当金	2,811	1,522
役員賞与引当金	200	140
役員株式給付引当金	205	—
未経過リース料引当金	3	4
債務保証損失引当金	31	26
資産除去債務	1	1
その他	48,564	49,126
流動負債合計	1,451,473	1,490,071
固定負債		
社債	227,137	243,578
長期借入金	779,458	766,764
債権流動化に伴う長期支払債務	15,197	9,854
リース債務	530	329
繰延税金負債	17,122	16,255
退職給付に係る負債	2,974	2,814
役員退職慰労引当金	160	382
役員株式給付引当金	410	573
メンテナンス引当金	476	362
債務保証損失引当金	440	376
資産除去債務	3,825	4,128
その他	76,256	77,599
固定負債合計	1,123,990	1,123,020
負債合計	2,575,464	2,613,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,532	10,532
資本剰余金	7,278	1,902
利益剰余金	277,361	298,589
自己株式	△2,463	△2,126
株主資本合計	292,709	308,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,547	33,334
繰延ヘッジ損益	△3,932	△5,199
為替換算調整勘定	5,509	28,122
退職給付に係る調整累計額	△0	67
その他の包括利益累計額合計	40,124	56,325
新株予約権	650	583
非支配株主持分	40,754	40,626
純資産合計	374,239	406,434
負債純資産合計	2,949,704	3,019,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	463,070	533,765
売上原価	397,233	459,191
売上総利益	65,836	74,574
販売費及び一般管理費	31,318	33,197
営業利益	34,518	41,376
営業外収益		
受取利息	10	44
受取配当金	1,456	1,393
為替差益	—	659
投資事業組合運用益	175	258
持分法による投資利益	2,348	3,898
償却債権取立益	1,433	53
債務保証損失引当金戻入額	95	69
その他	356	466
営業外収益合計	5,875	6,843
営業外費用		
支払利息	587	712
社債発行費	33	45
為替差損	460	—
投資事業組合運用損	37	64
匿名組合損益分配額	275	339
その他	56	64
営業外費用合計	1,450	1,227
経常利益	38,943	46,993
特別利益		
投資有価証券売却益	840	1
退職給付制度移行益	10	—
その他	73	—
特別利益合計	924	1
特別損失		
投資有価証券評価損	192	162
段階取得に係る差損	2	—
関係会社整理損	—	865
減損損失	9	0
固定資産処分損	20	32
退職給付制度改定損	9	—
特別損失合計	234	1,061
税金等調整前四半期純利益	39,633	45,933
法人税等	11,955	13,756
四半期純利益	27,678	32,176
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,986	1,446
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,691	30,730

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	27,678	32,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,080	△5,195
繰延ヘッジ損益	256	△1,405
為替換算調整勘定	5,723	21,803
退職給付に係る調整額	29	193
持分法適用会社に対する持分相当額	△211	881
その他の包括利益合計	1,717	16,277
四半期包括利益	29,396	48,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,405	46,930
非支配株主に係る四半期包括利益	1,991	1,523

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である㈱ジーアイ・ホールディングスの株式を追加取得したことにより、資本剰余金が5,376百万円減少しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、一部の投資信託について、従来は、参考価格によって評価を行っていましたが、基準価額により評価を行う方法へ変更しております。

(会計上の見積りの変更)

当社グループが賃貸資産として保有する航空機については、主として、耐用年数を21年、当該リース物件取得価額の10%となるような残存価額率を基礎に、リース契約期間満了時の処分額を見積もり、これを残存価額としてきました。第1四半期連結会計期間期首より、主として、耐用年数を25年、取得価額の15%となるような残存価額率に見直し、将来にわたり変更しております。

当社グループは、第1四半期連結会計期間期首開始の新中期経営計画より、賃貸資産として保有する航空機について、保有機材を長期保有するビジネスモデルから、市場環境等に応じ入れ替えを行うビジネスモデルに変更しました。これを契機に、第1四半期連結会計期間において、航空機リースに係る取引実績データが蓄積されてきたこと及び将来にわたる航空機需要の見通し等に基づき、航空機の耐用年数及び残存価額について検討を行った結果、航空機の長期的な需要や運航可能年数の長期化等を踏まえ、より実態に即した耐用年数及び残存価額に変更を行うものです。

この結果、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,679百万円増加しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	リース及び割賦	ファイナンス	その他	合計
売上高				
外部顧客への売上高	417,309	16,380	29,380	463,070
セグメント間の内部売上高 又は振替高	975	2,704	1,481	5,161
計	418,285	19,084	30,861	468,232
セグメント利益	24,410	12,660	6,120	43,190

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	43,190
セグメント間取引消去	△688
全社費用(注)	△7,983
四半期連結損益計算書の営業利益	34,518

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、㈱Work Visionの発行済株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「その他」のセグメントにおいて、のれんが1,900百万円発生しております。

なお、当該のれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	リース及び割賦	ファイナンス	その他	合計
売上高				
外部顧客への売上高	476,997	19,276	37,491	533,765
セグメント間の内部売上高 又は振替高	565	2,644	2,191	5,401
計	477,563	21,920	39,682	539,166
セグメント利益	28,952	14,533	8,098	51,583

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	51,583
セグメント間取引消去	△1,862
全社費用(注)	△8,345
四半期連結損益計算書の営業利益	41,376

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、㈱ヒューマンセントリックスの発行済株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「その他」のセグメントにおいて、のれんが1,848百万円発生しております。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

3. 補足情報

(1) 契約実行高

セグメントの名称		前第3四半期 連結累計期間 (2021年4月1日～ 2021年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (2022年4月1日～ 2022年12月31日)		対前年同期増減	
		契約実行高 (百万円)	構成比 (%)	契約実行高 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
リース及び 割賦	ファイナンス・リース	192,909	19.1	175,278	16.1	△17,630	△9.1
	オペレーティング・リース	164,977	16.3	145,381	13.4	△19,595	△11.9
	リース計	357,886	35.4	320,660	29.5	△37,226	△10.4
	割賦	15,836	1.6	15,798	1.5	△38	△0.2
	リース及び割賦計	373,723	37.0	336,458	31.0	△37,265	△10.0
ファイナンス		637,384	63.0	748,998	69.0	111,613	17.5
その他		131	0.0	172	0.0	40	31.2
合計		1,011,240	100.0	1,085,629	100.0	74,389	7.4

(注) 1. オペレーティング・リースは、賃貸物件の取得価額を記載しております。なお、再リース取引の実行額は含んでおりません。

2. リースについては、当第3四半期連結累計期間に取得した賃貸用資産の購入金額、割賦については、実行時の割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。

(2) 営業資産残高

セグメントの名称		前連結会計年度末 (2022年3月31日)		当第3四半期 連結会計期間末 (2022年12月31日)		対前連結会計年度末比 増減	
		期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
リース及び 割賦	ファイナンス・リース	1,019,764	39.7	902,589	34.3	△117,174	△11.5
	オペレーティング・リース	671,838	26.2	754,864	28.7	83,026	12.4
	リース計	1,691,602	65.9	1,657,453	63.0	△34,148	△2.0
	割賦	66,067	2.6	55,060	2.1	△11,007	△16.7
	リース及び割賦計	1,757,669	68.5	1,712,513	65.1	△45,155	△2.6
ファイナンス		776,467	30.3	888,995	33.8	112,528	14.5
その他		31,801	1.2	30,039	1.1	△1,762	△5.5
合計		2,565,939	100.0	2,631,548	100.0	65,609	2.6

(注) 割賦については、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。